

第356回三木市議会臨時会 市長 閉会あいさつ

令和2年4月28日

閉会に当たりまして、ごあいさつを申し上げます。

議員の皆さまにおかれましては、終始ご精励を賜りありがとうございました。

おかげをもちまして、このたびの市議会に提案いたしました議案につきまして、適切なるご決定を賜りましたことに、厚くお礼を申し上げます。

この補正予算の成立を受け、新型コロナウイルス感染症の影響でお困りの中小企業や小規模事業者の皆さまへの支援、そして、市民の皆さま一人当たり10万円の給付金が一日でも早くお手元に届きますよう、全庁を挙げて職務に邁進してまいります。

なお、この新型コロナウイルス感染拡大の脅威に歯止めをかけられるかどうか、その兆しが見えるかどうかは、このゴールデンウィークがひとつの正念場であると言われており、都市部では「命を守るステイホーム週間」が25日から始まっており

ます。

また、近々、国により、緊急事態宣言を解除するのか、又は更に期間を延長するのかの判断が示されます。

市民の皆さまには、これまで何度もお願いしていることですが、感染しないための行動の更なる徹底をお願いします。

- 手洗いや咳エチケットを徹底し、不要不急の外出を控えてください。
- 発熱のある方、強いだるさや息苦しさのある方は、病院に行く前にまずは、電話で相談してください。
- 風通しの悪い空間で、人と人が至近距離になるイベントへの参加を控えてください。いわゆる三密（密閉、密集、密接）は避けてください。
- 国や県、市から発信する情報を基に、落ち着いて行動してください。

また、連日、兵庫県などから新型コロナウイルスへの感染症患者の情報が発表され、新聞報道などがなされています。

本市を含む北播磨地区の5市1町の感染症患者は、兵庫県の発表により、現在6人、加東健康福祉事務所管内での発生といった表現となっています。

感染症患者の把握をはじめ、濃厚接触者等の調査も兵庫県が

行っています。また、必要な方にはPCR検査を実施しています。消毒や隔離などの感染拡大防止に措置が必要な場合も、兵庫県からの指導に従うことになっています。

したがって、現在、兵庫県から直接指導を受けていない市民の皆さまにつきましては、公表された感染症患者からの感染リスクは極めて低いものと判断できます。

しかしながら、今後において、感染経路が不明で濃厚接触者が特定できないといった事態が発生した場合など、兵庫県の公表内容だけでは市民の皆さまの安全を守れない、市民の暮らしを脅かす、そう市長として判断した場合には、市として必要な情報をきっちり市民の皆さまに公表します。

現時点においては、市民の皆さまには、ここ北播磨地域で感染症患者が発生しているという事実を強く認識していただき、備えていただきますようお願いいたします。

そのうえで、患者やご家族の人権尊重・個人情報保護することについても、十分にご理解とご配慮をお願いいたします。

そして、医師・看護師・保育士をはじめこの難局に職務に精励していただいておりますすべての方に感謝申し上げます。

最後になりますが、議員の皆さまには、くれぐれも健康にご留意いただき、これからも、ふるさと三木発展のためにご活躍

をいただきますよう、心からお願い申し上げまして、閉会のあいさつといたします。

この難局を市民一丸となって乗り越えてまいりましょう。

ありがとうございました。